

# 「ITS EXPO」の成功とITS実用化への飛躍

日野 進 (ITSJapan 実用化促進プロジェクト部長)

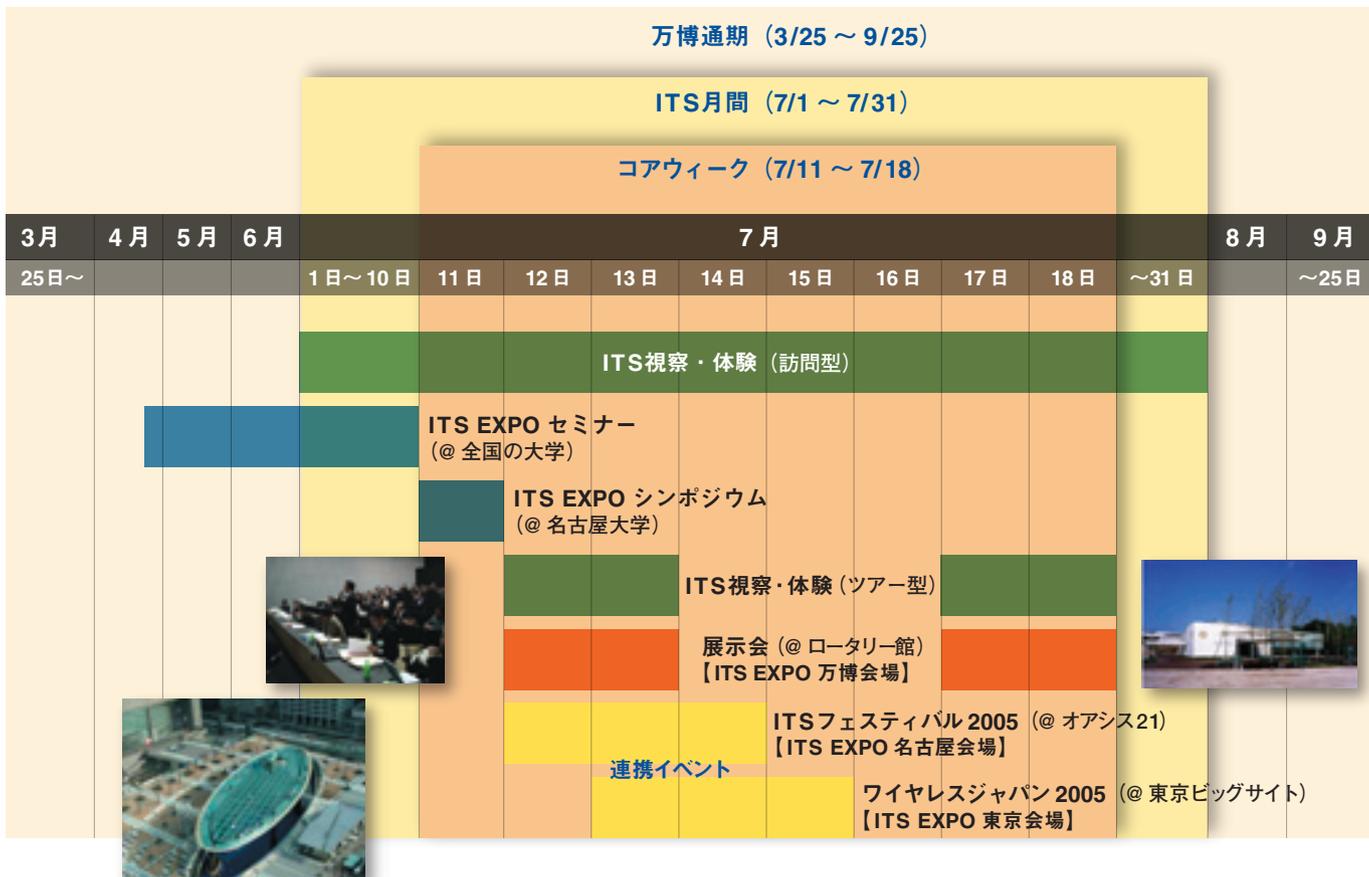
## はじめに

21世紀最初の国際博覧会である「2005年日本国際博覧会（以下、愛知万博と略）」が、9月25日に、185日にわたる会期を無事終了した。入場者数は2,200万人

を超え、「自然の叡智」をテーマに、環境を守っていくことの大切さ、人類と自然との共生の大切さなど、多くのことを我々に残し、大成功をおさめて幕を閉じた。

当初心配されていた万博来場者の輸送問題も複数のアクセス経路の設定やシャトルバスの導入、様々なメディアを使っ

## ■ ITS EXPOの展開図



## ■ ITS EXPOの実施イベントの内容と実績

イベント	実施日	場所	参加者数		
			目標	実績	
ITS EXPO セミナー	4/21 ~ 7/10	全国 19 大学 31 講座	3,000 人	2,800 人	
ITS EXPO シンポジウム	7/11	名古屋大学	200 人	160 人	
展示会	7/12、13、17、18	愛・地球博会場内ロータリー館	5,000 人	8,000 人	
ITS 視察・体験	7/12、13、17、18	愛・地球博会場周辺、会場内	270 人	170 人	
連携イベント	ITSフェスティバル2005	7/12 ~ 14	名古屋オアシス 21	10 万人	13.3 万人
	ワイヤレスジャパン 2005	7/13 ~ 15	東京ビッグサイト	3 万人	3.4 万人
広報	4/27 ~ 7/18	名古屋・東京他	—	—	

た情報サービス等により円滑に処理された。いわゆる ITS の活用が大きな役割を果たしたといえよう。

愛知万博の開催期間中、ITS Japan は、短期間ではあったが、万博来場者や ITS 関係者を対象に、万博会場内や会場周辺において ITS を活用した普及促進イベント「ITS EXPO」を開催した。このイベントは、昨年秋に名古屋市で開催された「ITS 世界会議 愛知・名古屋 2004（以下、ITS 世界会議と略）」に続く第 2 弾、ITS 実用化に向けたセカンドステップと位置づけられているものである。

ITS EXPO では、世界最先端の ITS や市民参加といった ITS 世界会議の成果を更に進展させ、展示や視察・体験等を通じて多くの方々に ITS を知っていただいた。ITS EXPO も愛知万博と同様、成功裏に終了することができ、今後はサードステップである ITS の実用化に大きく飛躍することが期待されている。

### 産学官連携による ITS イベント「ITS EXPO」

ITS EXPO は、ITS 関係 4 省庁（警察庁、総務省、経済産業省、国土交通省）・団体、（財）2005 年日本国際博覧会協会、自治体、大学、民間企業・団体等の、いわゆる産学官の強力な連携によって開催が可能になった。

ITS Japan では、市民の方々により ITS を知っていただくことや ITS の早期実用化を促進すること、更には、愛知万博の成功にも寄与することなどを目的として、産学官のメンバーからなる「ITS EXPO 連絡会（委員長：森川名大教授）」を推進母体として組織し、ITS EXPO を開催した。

ITS EXPO は、その実施期間を万博通期（万博開催期間中）、ITS 月間（7/1 ~ 7/31）、コアウィーク（7/11 ~ 7/18）に分け、短期間に ITS をできるだけ多くの人に知っていただくために、セミナー、

シンポジウム、展示会、連携イベント、広報などの多彩なイベントを企画した。

「ITS EXPO セミナー」では、4月下旬から全国各地の大学で派遣講師によるITS講座をスタートさせて学生や社会人の方々にITSを知っていただき、その成果をコアウィーク初日の「ITS EXPO シンポジウム」に集結させた。コアウィークではシンポジウムを皮切りに、「ITS 視察・体験（ツアー型）」と「展示会」を中心に行うと同時に、東京や名古屋で開催されるITS関連イベントとも連携を図り、全体の盛り上げを図った。

### 成功裏に終了した ITS EXPO

昨年のITS世界会議では、途中、台風の来襲という予期せぬ出来事が発生したが、今回のITS EXPO は計画通り順

調に行われ、7ページの表の通り、所期の目標を概ね達成することが出来た。特に万博会場内のロータリー館で行った展示会には、4日間で8,000人余の方々に来場いただくことができ、ITS世界会議の市民参加という成果を引き継ぎ、多くの方々にITSを知っていただくという目的は十分果たせたものと思われる。

### 個別イベントの 開催結果

#### 【ITS EXPO セミナー】

4月21日から7月10日にかけて、全国19大学の先生方のご協力を得て、ITS Japan から講師を派遣し、計31講座で「日本のITSの現状と今後の展望」と題する講演を行った。

次世代を担う学生（一部、社会人も含む）、約2,800人の方々にITSを理解していただき、ITSユーザーの裾野を拡大するとともに、学生や社会人の方々から、今後のITSのあり方やITSサービスについての意見を多く収集することができた。

#### 【ITS EXPO シンポジウム】

7月11日に、名古屋大学野依記念学術交流館において160人の参加のもと、「ITS EXPO シンポジウム」を開催した。「Seeds meet Needs ～ニーズとシーズの融合（ITSの早期実現化を目指して～）」をテーマに、ニーズとシーズの間にある課題、ITS実用化への課題と方策などについて、講演とパネルディスカッショ

#### ■ ITS EXPO セミナー



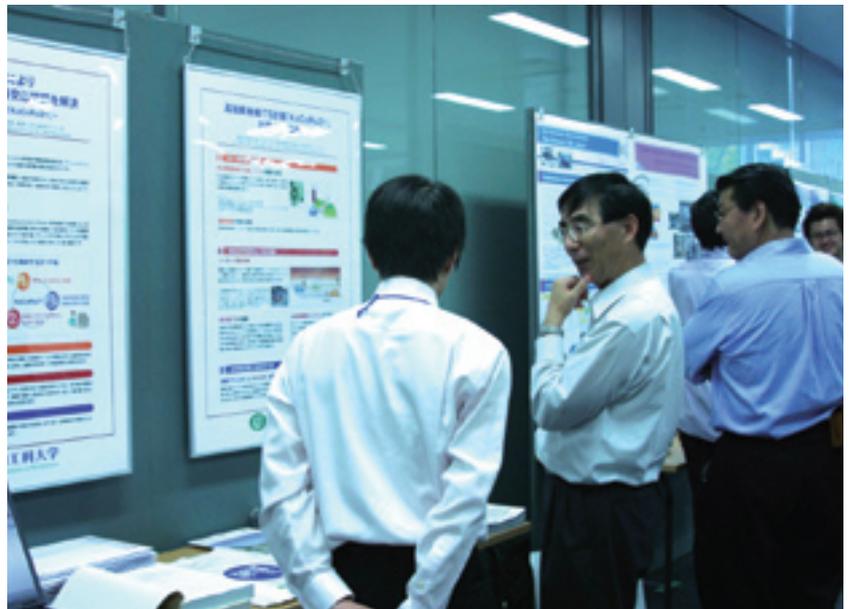
ンを通して議論を深めた。

特別講演として、中国のITSの現状や愛知万博を支えるITSについてもタイムリーな現状報告をいただき、有益な情報共有ができた。また、全国の大学で実施したITS EXPOセミナーの集大成として、セミナー開催大学での最新の研究成果とセミナー後に行ったアンケート調査の結果の発表を、「パネル展示会」という形で同時開催し、産学連携の成果を示すことができた。

#### 【展示会】

7月12日、13日、17日、18日の4日間、万博会場内のロータリー館でITSの展示会を開催した。万博パビリオンの見学コースからはずれた場所にもかかわらず、最終的に、4日間で8,000人もの方々に来場いただいた。400㎡の広さに、8ブースの展示コーナーを構え、日本のITSの現状と将来、万博会場内外で運用されているITS、愛知県名古屋市・豊田市・地元団体等のITSの取り組みなどをパネルとPC操作で紹介した。最新のITS機器の一例として、スマートプレート、VICS、テレマティックス、歩行者安全走行支援システム、カーナビ、ETC車載端末を展示し、来場者に直接触れていただいた。

中央ステージでは、100インチスクリーンに昨年のITS世界会議で使用したITSワールドの映像（ITSの仕組みや未来のITS社会を紹介）やITS EXPOの記録映像などを放映するとともに、愛知万博を支えるITSのプレゼン



■ ITS EXPO シンポジウム

テーションを（財）2005年日本国際博覧会協会から行っていただいた。

#### 【ITS 視察・体験】

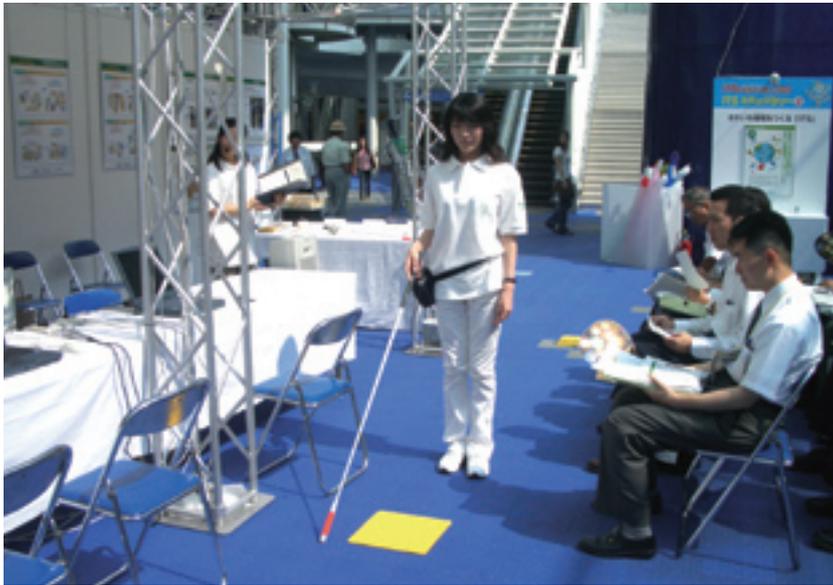
7月12日、13日の2日間、名古屋市や豊田市、万博会場内で運用されている最新のITSを視察・体験するバスツアーを実施した。

ITS関係省庁、自治体、民間団体のご協力により、ITS世界会議でのショーケースを更に一歩進めたITSを整備していただき、それらを組み合わせた5コースの視察・体験ツアーを用意し、170人のITS関係者の方々に視察・体験していただいた。

なお、一般の方々には、記者発表で視察・体験できるITSを紹介し、直接、現地で参加していただいた。万博ITS



■ 展示会の展示ブース



■ ITS 視察体験（歩行者支援 ITS）

については、ロータリー館での説明を聞いていただいた後、一部については現地で視察・体験をしていただいた。

### 【連携イベント】

7月12日～14日に名古屋オアシス21で開催された「ITS フェスティバル2005」と、7月13日～15日に東京ビッグサイトで開催された「ワイヤレスジャパン2005」と連携をとって、ITSの展示やシンポジウム等のイベントを実施していただいた。

また、ITS EXPOと愛知万博の記録映像を制作して東京と名古屋の連携会場で放映し、ITS EXPOの認知度向上と愛知万博のPRを行った。

### 【広報】

ITS EXPOの全容を紹介した小冊子ITS EXPOハンドブックの配布、ITS EXPOや展示会の紹介用チラシの

配布、ホームページの立ち上げや記者発表等により、主に一般の方々を対象にITS EXPOを幅広く広報した。ITS EXPOの記事は、各種新聞の全国版や名古屋地域版に掲載され、万博来場者の増加にも効果を上げた。

### ITS EXPOの成果

短期間のイベントではあったが、ITS EXPOは、ITS世界会議に続くセカンドステップとして、ITSの普及促進の点から次のような成果をもたらしたものと考えられる。

### 【ITSの認知度向上】

ITS EXPOの最大の成果は、8,000人の来場者を集めた展示会に代表されるように、一般の方や子供たちも含めてITSの3文字を、親しみをもって覚えてもらえたことと言える。

また、ITS EXPOセミナーでは、3,000人規模の全国の大学生や社会人の方々にITSを理解していただき、ITSの将来について建設的な意見をいただいた。

子供達や学生、社会人の方々にITSに親しみをもってもらえたことにより、将来のITSユーザーの裾野が大きく広がったものと言えよう。

### 【ITSの実用化促進】

ITS EXPOシンポジウムでは、ITSの普及の現状やその阻害要因、実用化／事業化のヒントなどについて深掘され、

その対策についても議論された。

また、ITS 視察・体験では、関係機関のご協力により世界会議ショーケースを更に一步進めた ITS を整備していただき、170人の ITS 関係者の視察・体験が可能となった。

シンポジウムでの ITS 普及課題の認識、実用化に一步近づいた ITS の構築、ITS 関係者による視察・体験の実現などにより、我が国 ITS は、今後の実用化に向けて大きく前進したものと考られる。

#### 【愛知万博の成功への貢献】

愛知万博の入場者数は当初の目標を大きく超え 2,200 万人を突破した。ITS EXPO では、すべてのイベントの中で、愛知万博、及びそれとの連携を PR し、万博来場者数の増加に貢献できたのではないかとと思われる。

また、冒頭に述べたように、ITS が万博来場者の輸送問題解決に大きな役割を果たしたことにより、ITS の重要性が認識され、ITS の早期実用化に拍車がかかるものと期待される。

#### 今後の実用化展開 に向けて

ITS EXPO の成功を受けて、ITS Japan は、次のテップである ITS の実用化展開の準備を進めている。

ITS Japan では、現在、世界会議で実現され、愛知万博で改良されたショーケースの早期実用化を促進するため、ITS Japan 内に「ショーケース実用化



■ 連携イベント (ITS フェスティバル 2005 <アシス 21>)

方策検討委員会(委員長:赤羽千葉工大教授、委員:民間 9 社)を組織し、世界会議ショーケースのいくつかを対象として、実用化に向けた課題、実用化方策/シナリオ等を策定するとともに、愛知・名古屋の成果をいち早く地域にも提示し、我が国 ITS の実用化展開に役立てることを計画している。



■ 同上 (ワイヤレスジャパン 2005 <東京ビッグサイト>)

最後に、ITS EXPO の開催にあたり、ITS 関係省庁・団体、(財) 2005 年日本国際博覧会協会、地元自治体、大学、民間企業・団体等多くの方々からご尽力をいただいた。この場をお借りして、心よりお礼申し上げますとともに、今後の ITS の実用化展開に向けて、関係各位の引き続きのご支援・ご協力をお願いしたい。(ひの・すすむ)